

名前 _____

日付 _____

得点 _____

1 / 2

1 答 3 板

【板につく】仕事や服装がその人にぴったり合う

- × 1 「机につく」は座るという意味で、慣用句ではない
- × 2 「棚に上げる」なら別の慣用句
- × 4 「壁にぶつかる」なら別の慣用句

覚え方 舞台の板（ゆか）に役者が慣れる様子から

例 新人だった彼女の司会も、すっかり板についてきた。

2 答 2 耳

【耳が痛い】自分の欠点を言われて聞くのがつらい

- × 1 「鼻が高い」は得意な様子
- × 3 「目が痛い」は慣用句ではない
- × 4 「口が重い」は口数が少ない様子

覚え方 聞きたくない話が耳に刺さる感じ

例 遅刻を注意され、耳が痛い話だった。

3 答 3 手

【手を打つ】前もって対策を立てる

- × 1 「足を運ぶ」は出向くこと
- × 2 「目を配る」は注意を向けること
- × 4 「耳を貸す」は話を聞くこと

覚え方 手をたたいて話がまとまる様子から

例 混雑に備えて、早めに手を打った。

4 答 3 肩

【肩を落とす】がっかりして元気をなくす

- × 1 「ひじを張る」なら別の表現
- × 2 「ひざを打つ」は感心する様子
- × 4 「腰を据える」は落ち着いて取り組むこと

覚え方 落胆すると自然に肩が下がることから

例 結果を見て、彼は肩を落とした。

5 答 1 朝飯

【朝飯前】とても簡単にできること

- × 2 「夕飯前」という慣用句はない
- × 3 「夜食」を使った慣用句はない
- × 4 「昼飯前」という慣用句はない

覚え方 朝ごはんの前の短い時間でもできる、という意味

例 この程度の片づけは朝飯前だ。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

2 / 2

6 答 2 何もせずに見ている

【手をこまねく】何もせずにただ見ている

- × 1 「準備する」という意味だと思われがちだが誤り
- × 3 それは「手を貸す」の意味
- × 4 「手を急ぐ」という慣用句はない

覚え方 「こまねく」は腕を組むこと。腕組みをして動かない様子

例 何もできず、手をこまねいて見ているだけだった。

7 答 2 遠慮がいらず気楽だ

【気が置けない】遠慮がいない、気楽につきあえる

- × 1 「油断できない」という逆の意味に取られやすい
- × 3 気が合わないという意味ではない
- × 4 落ち着きとは関係がない

覚え方 「気を置く」＝遠慮する。その否定なので遠慮がいない

例 気が置けない友人とゆっくり過ごした。

8 答 2 役目が軽すぎる

【役不足】その人の実力に対して役目が軽すぎる

- × 1 「力不足」と混同されやすい。意味は正反対
- × 3 人数の話ではない
- × 4 準備の話ではない

覚え方 「役」が「不足」している。人ではなく役目が足りない

例 彼にこの仕事は役不足だ。もっと重い任務を任せたい。

9 答 2 親切はめぐって自分に返る

【情けは人のためならず】人への親切は、めぐりめぐって自分に返ってくる

- × 1 最も多い誤解。「ならず」を「ためにならない」と読んでしまう
- × 3 同情の是非を説くことわざではない
- × 4 厳しさを説く言葉ではない

覚え方 「人のためだけではない」という意味。自分にも返る

例 情けは人のためならずというから、進んで手伝おう。

10 答 2 他人の失敗も自分の役に立つ

【他山の石】他人の失敗や欠点も、自分をみがく役に立つ

- × 1 立派な手本という意味で使うのは誤り
- × 3 それは「対岸の火事」の意味
- × 4 障害という意味はない

覚え方 よその山の粗い石でも、玉をみがく道具になるという故事から

例 あの失敗を他山の石として、同じ過ちを避けたい。